

発行所  
新潟市江南区北山1037番地  
新潟明訓高等学校同窓会  
会長 渡辺 惇 夫

- 一 母校愛精神の昂揚
  - 二 伝統保持と敬愛
  - 三 会員の連繋と相互扶助
- 綱 領

### ご挨拶

#### 同窓生としての誇りと新たな決意



同窓会長  
渡辺 惇 夫

今年の夏は例年にない暑さでしたが、漸く秋の気配が感じられる頃となりました。

同窓会々員の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのことと拝察し、心からお喜びを申し上げます。

平素は同窓会の諸活動並びに母校の発展向上のために、暖かいご理解とご協力をいただき衷心より感謝を申し上げます。

お蔭様で我が同窓会も多数の会員を擁し、年々活動実績を積み、母校の発展とともに内外に高い評価を得られるに至りましたことは我々の大きな喜びであり、誇りでもあります。このことは偏に、会員皆様の変らぬ母校愛と、日頃

のご精進とご努力の賜物であり、加えて同窓会に対する学校ご当局や関係者の皆様のご支援があつてのことであり、ここで改めて心からお礼を申し上げます。これからも、我々は他校にはない母校の建学の精神を大切に継承し、同窓会員としての誇りを持ちながら、引き続き同窓会の発展充実のために努力邁進していかねければなりません。ご承知のように、我が母校も大正一〇年の創立以来、実に八十有余年の歴史を有し、多くの先輩の皆様のご努力のお蔭で他校に誇れる立派な伝統と実績を積み重ねて参りました。そして母校に於きましては、新しい時代に対応し、今後の

更なる発展を期すために、本年四月新潟明訓中学校を創設し、中高一貫教育を実施致しました。我が同窓会としまして、この母校の発展に相応しい体質の強化と活性化が今強く求められておりますし、同窓会全員がこのことに向けた意識改革と努力が必要であります。幸いにも我が同窓会には、年代を問わず優れた人材も多く、広く各界各層に於いて指導的立場で活躍しておられます。この多くの皆様から母校の現状を充分にご理解いただき、大きな関心を持っていただくことにより同志的意識を高めることができ、すし、共通した目的に向って協力体制を確立することもでき、それが同窓会の活性化と発展に繋がっていくものと思

います。そして、このことが母校の発展にも大きく寄与するものと確信いたします。ところで、最近の母校の在校生の皆さんの文武両道に秀でた活躍は、我々同窓生に対し新鮮な感動と勇氣と自信を与えてくれており、感謝して

おります。特にこの夏の野球部が5度目の甲子園出場を果たし、全国の強豪を相手に本校初の2勝を飾り堂々たる全国十六強入りしたことは歴史に残る快挙であり、我々同窓生にも大きな勇氣と感動を与えてくれました。これらも後輩の皆さんのより良い教育環

境づくりに出来得る限り協力するの我々同窓生の責務ではないかと思ひます。我々は限りある人生であります。明訓同窓会と母校明訓高校の存在は永遠であります。その母校にご縁を得た我々同窓会員はこれからも母校の発展を願ひ、会員同士の絆を一層強くすることが自分自身の人生を豊にすることに通ずることでもあります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げますとともに、同窓会員皆様の一層のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。ご挨拶といたします。



理事長  
伴 昭彦

### おかげさまで

同窓会の皆様にはお変わりなく御元気で御活躍のこととお喜び申し上げます。

最近、日本のことが外国で見直されているということ時々聞きます。健康のための日本食とか、交番という制度とか色々あるようですが、日本語でも「もったいない」という言葉を、ノーベル平和賞受賞者で環境保全の運動家

として有名なケニアの環境副大臣マータイ女史が大変素晴らしい言葉だと言っておられます。地球の限られた資源を大切にすることで「もったいない」という表現ですすめていきたいということだそうです。我が国でもある県知事さんがこのスローガンで当選されたことがあります。

ところが、桐蔭横浜大学教

授でありチベットの文化研究所所長のペマ・ギャルボさんという方は、「おかげさま」という言葉が素晴らしい言葉であり、これこそが二十一世紀における諸問題解決の処方箋であり、また共存共栄のためのキーワードになる、と言っておられます。この方は約四十年前に、インドから諸費用をスポンサー持ちで一切心配なく過ごせるといふ環境へ、印パ戦争の最中の印度から日本へ来られました。日本へ来て最初の大問題の解決に努力し漸く解決したとき、面倒を見て下さった先生がスポンサーのところへ挨拶に行き、「おかげさまでうまくいきました」とお礼を言うように指示されたのですがペマ・ギャルボさんは、この問題の解決は自分の努力の結果なのに何故他人に「おかげさま」といわなければならぬのかからず、「おかげさま」とはついに言えなかつたということでした。

しかし、今考えてみると戦争中の印度の劣悪な環境から勉強のために平和な日本に来て何の心配もなく過ごせたのは、その幸せな環境を与えて下さった日本の方々の「おかげ」だということをはっきりと感じておられるそうです。私達は生きてゆく上で、お金や物などが重要であること

はわかりませんが、形のないものは大切なものであっても中々有難みを感じないようです。しかし、実際は外界の事物でも空気や水の大切さ有難さはどなたでも御存知でしょうが、人間のつながりが根底にあってこれに依存し頼りにしているのです。これこそが皆様の「おかげ」であり「おかげさま」なのであって、これがあるから人生を頑張つて生きてゆけるというのです。同窓会という人間のつなが

りは私達の生活の根底でつながりを持ち、目に見えないようであつてもお互いに「おかげさま」という気持ちで、より謙虚に生きるることによって自分が生かされているという意味と感謝の気持が生まれてくると思います。

新潟潟明訓高校は多くの先人諸先輩として現在の同窓会の「おかげ」で前進を続け発展してゆけるものと思います。皆様の御多幸と御繁栄を祈念させて頂きます。

## 甲子園出場に際して



学校長

宮沢 稔

今年の夏は、燃えるように暑い夏でした。その暑いさなか、二年ぶり五回目の夏の甲子園出場が決定し、学校中がさらに燃えました。

中越沖地震で県大会が一週間延期され、八月一日に決勝戦が行なわれたため、短期間に募金活動等を行なわねばならず、同窓の皆様方にはほんとにお世話になりました。心からお礼を申し上げます。

甲子園では、県内はもとより、全国各地から応援に駆けつけていただいた同窓の方々

から、「おめでとう！」「がんばって！」と、喜びと激励の言葉をかけられました。

こういう中で、選手諸君は全国の強豪チームを相手に大活躍。三回戦まで進出して二勝をあげ、ベスト十六に輝くとともに、全国で十四校のみ選ばれた国体出場校に名を連ねました。まさに、明訓の歴史をぬりかえる大活躍で、大いに盛り上がりました。

高校生諸君はもろろん、四月に開校した明訓中学校の生徒たちも応援に加わり、大き

な声で明訓の校歌をうたつてきました。きっと、青春時代の良き思い出になることでしょう。

八月の終わり、二学期の始業式で、生徒諸君に次のように話しました。

全校の生徒諸君が、甲子園でがんばる選手諸君を応援し、二度も校歌をうたえたことはすばらしいことでした。中越沖地震で被災された方たちからも、「元氣や励ましをもらつた」と喜んでもらいました。ほんとにうれしいことでした。

高校野球は「筋書きのないドラマ」と言われ、選手諸君がひたむきに努力する姿がさわやかな感動を呼んでいきます。皆さんのこれからの人生も、この高校野球と同じように考えることができるのではないのでしょうか。

今日から二学期が始まりますが、野球部の諸君からもらったエネルギーを、ぜひ、これからの生活に生かし、努力していつてほしいと思います。

また、九月の初め、高校三年生諸君のセンター試験ガイダンスでも、「最後の最後まであきらめずに、全力を尽くしてがんばつた野球部の諸君に続く！」と激励したところです。

文武両道を標榜する本校では、野球部が甲子園に出場し

## 第十九回首都圏新潟明訓会総会に臨んで

首都圏新潟明訓会の第十九回総会・懇親パーティーのお

招きを受け、昨年の11月26日(日)、晩秋のやわらかい陽をあびながら久しぶりに銀ブラを楽しみながら東京・銀座日航ホテルの会場に向かいました。

すでに会場は同窓生を出迎える準備も万端整えられ和やかな雰囲気になっていました。児嶋達弘副会長・伴昭彦理事長・宮沢稔学校長もつきつぎと到着され、同窓諸氏と

た年は、大学進学も良くなると言われています。今年もきつと、いい結果を出してくれるだろうと期待しております。

なお、今回は野球のことを中心に書かせてもらいましたが、この夏は、陸上競技、剣道、相撲、囲碁、将棋、放送、写真などの部も全国大会に出場し、それぞれががんばり、活躍してくれたことを書き添えておきます。

最後になりましたが、今後とも同窓の皆様方のご健勝と、母校へのさらなるご支援ご協力をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

来賓室で歓談をしているうちに定刻どおりの13時から会は始まりました。

秋葉正樹会長(昭46年卒)の挨拶のあと、議事に従い案件がつぎつぎと決議されどころうことなく総会は進行し、再選された秋葉正樹会長のお言葉からは新潟明訓高校の首都圏会として力強く継続・発展してゆくものをひしと感じました。洗練された都会的なテキパキとした議事の流れに始めて接した私は、新潟の同窓会とひと味違う気持ちのよい清々しい空気を感ずました。ご周知のとおり首都圏新潟明訓会は約70名が在籍しており、東京都をはじめ神奈川県・埼玉県・茨城・栃木の各県にまたがっており、将来にむかえますます会員

の広がりをひめる期待のできる会と推しています。

総会のあとパーティーにうつり児嶋達弘同窓会副会長(渡辺惇夫同窓会会長代理)・伴昭彦理事長・宮沢稔学校長の順に挨拶があり、それぞれから同窓会の発展繁栄のために期待をこめた心のこもった話が首都圏同窓会のみなさんに伝えられ、さらに学校長か

らは明訓高校の現況と来春から併設される中学校創設についての意義についての話がありました。本間四郎氏(昭20年卒)による乾杯の音頭で宴がはじまり会場はいっきに打ち解けた和やかな会へと移つてゆきました。軽快な司会は宴に一層華を添え、やがてジャズタイムの始まりとなり熊倉由美さん(昭56年卒旧姓牟田)等による懐かしいメロデーと歌で会場は青春時代にタイムスリップ参加者皆それぞれに青春時代の思い出、何時訪れても懐かしい故郷とそこに確かに居た友との出会い、故郷を離れて首都圏で過ごしていても決して忘れられることのできない過ぎ去つた流れの中で・・・久しぶりに会う同窓と語らう嬉しさなど、すべてが新潟明訓生で在った自分との出会いを再確認できる楽しいひとときでした。

母校は創立八十五年を数え、学んだ同窓は二万五千余名にのぼり、昨今新潟明訓高校の名は名実ともに広く認知されてきていることは嬉しい限りであります。これもひとえに全国に活躍している同窓生のお力と学校をはじめ、現役の後輩諸君の努力の賜物であります。母校新潟明訓高校の同窓生として、これからも首都圏新潟明訓会の更なる隆盛を願って止みません。

(昭和34年卒 石川直樹)

新潟明訓高等学校

「東西新潟明訓会、

甲子園で合流!!」

家内の入院等で甲子園遠行  
けず、テレビ観戦で、応援し  
ていましたが、家内も退院し、

「甲子園へ行って来て」との  
力強いおことはにすぎ、新潟  
交通の知人にTELしたところ  
ろお盆最終土曜日にもかかわらず、航空券が手に入り、18  
日勇躍、甲子園球場の前に立  
つ事が出来ました。

早速関西新潟明訓会の皆様  
にお礼と、遅くなって来たお  
詫びを申し上げ、新潟より持  
参の黒崎茶豆を差し入れし、

皆様から喜んで召し上がっ  
ていただきました。

そうこうしている中、新潟  
より明訓プラスバンド部一行  
のバス2台が甲子園へ移動し  
て来ました。バスには校長先  
生も乗っておられ、私より連  
勝のお祝いを申し上げました  
ところ、「私の様に幸せな校  
長はいないでしょう。三度も  
甲子園に来ているんですか  
ら」との言葉が返って来まし  
た。また、首都圏新潟明訓会  
の一行12名もにぎにぎしく訪  
れました。交通  
手段を聞いてみ  
ると新幹線で来  
られたとの事  
でした。



東西明訓会合同の残念会

いつ来ても甲  
子園は、老いた  
私でさえも、血  
をわき立たせる  
力があります。  
新潟明訓高校の  
看板を持って写  
真撮影するな  
ど、甲子園も少  
し変わったかな  
と思いました。  
試合開始時間  
が近ずき、一塁



記念撮影

側アルプススタンドより入  
場。甲子園を一望し、思わず  
深く息を吸い込んで母校の勝  
利を祈りました。同窓会(関  
西、首都圏)と一緒に来たま  
り、生ビールを飲みながら懸  
命に応援しました。押され気  
味の試合を、長橋君のライト  
越えの二塁打が、スタンドを  
熱狂させ、我々を喜ばせまし  
た。しかし、健闘及ばず残念  
ながら勝利する事はできませ  
んでした。  
だが我々は3回戦までも勝  
ち進んでくれた選手諸君、監  
督に対し、手が割れんばかり  
の拍手を送ったのです。  
入場前から、関西明訓会副  
会長の本間さんより「試合終  
了後、皆で一杯やってから帰  
ります。ご一緒にどうぞ」と  
云われていたので、首都圏新  
潟明訓会の秋葉会長に「急ぐ  
旅でもなさそうだが関西明訓

会と一緒に残念会をやりませ  
んか」と申し上げたところ。  
「やりましょう」とすぐOK  
され、今までで始めての関西  
首都圏合同の残念会が行われ  
る事になりました。会場は、  
関西の本間さんが設営して下  
さることにになり、我々はただ  
後を追っかけて、どこかわか  
らない場所へ向かいました。  
和食居酒屋さんとおぼしき店  
に落ちつき、総勢20数名の一

行は本間副会長の音頭で残念  
会のカンパイを行い、皆で試  
合経過など話し合い、時の経  
つのも忘れ楽しい飲み会とな  
り、最後に小生の音頭で校歌  
とエールを唱えました。秋葉  
会長からも「来年もこのよう  
にして又会いたいものです」  
との挨拶もありました。終了  
後皆様満足の様子で帰路につ  
かれました。

「児島記」

会員紹介

今年度総会のアトラクショ  
ン・シャンソンショーに出演  
して頂きます本校出身のシャ  
ンソン歌手、澁谷文太郎氏を  
ご紹介致します。

澁谷氏は、ただいま国内各  
地でシャンソン歌手として活  
躍されており、この度、同窓  
会総会のアトラクション出演  
をお願い致しましたところ、  
お忙しいスケジュールを調整  
して、快く引き受けて下さい  
ました。



澁谷文太郎氏

平成5年(全日第44回)卒業  
シャンソン歌手

また、  
ご両親共  
に新潟明  
訓高等学  
校の教員  
を勤めら  
れており  
ました。

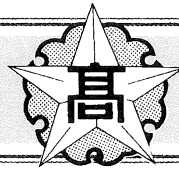
総会当日、出席された方々  
は、きっと澁谷氏のすばらし  
い歌声に魅了される事と思  
います。  
澁谷氏の今後益々のご活躍  
を同窓生一同で祈念致しま  
しう。

〈澁谷文太郎氏の略歴〉

新潟市出身。昭和50年3月2  
日生まれ。現在、京都市在住。  
新潟明訓高等学校同窓生(平  
成5年卒)担任。矢田先生。

- ・立命館大学在学中より、堀内周氏にシャンソンを師事。
- ・'98年より、ライブ活動、京都四条・南座でのシャンソンフェスティバルを始め、数々のコンサートに出演。
- ・'03年、日本アマチュアシャンソンコンクール神戸大会入賞。
- ・同年10月独立。
- ・現在東京・銀座「蛙たち」、新宿「シャンパーニュ」、赤坂「バルバラ」、京都「パリ野郎」、大阪心斎橋「アートクラブ」にレギュラー出演。
- ・都内、また関西各地のライブハウス、ホール、また大阪帝国ホテル、大阪リッツカールトンホテル、神戸ポートピアホテルなどのホテルのコンサートに出演。
- ・'04年より古谷充氏にジャズを師事。
- ・同年3月東京・草月ホールのシャンソンコンサートに出演。
- ・同年12月、故郷新潟のライブハウス「壺」にて初ライブ。
- ・'05年2月14日、京都リーガロイヤルにて、パレンタインディナーショー。
- ・5月に、若屋ルナホールにて矢田部道一氏のシャンソンコンサートに出演。
- ・9月京都府立文化芸術会館のチャリティコンサートに出演(ゲスト：山本リンダ)。
- ・12月4日に、新潟の「だいいしホール」にて初リサイタル。
- ・'06年、3月13日に京都リーガロイヤルホテルにてディナーショー開催。

# 学 校 高 案 内



## 今年 の 合 格 状 況

国公立大86名(現役生のみ)合格

### 国公立大医学部医学科に3年連続の 現役合格者！ 難関国公立大では北海道・東北・ 東京外国語・千葉 金沢・大阪・広島・首都大東京で 計10名の現役合格！

国公立大	合格者数	国公立大	合格者数	私立大	合格者数
北海道	3	国立広島	0	明治	7
北海道教育	1	その他	4	立教	7
旭川	0	国公立大学計	104	正田	3
帯広畜産	1	私立大	104	早稲田	4
岩手	0	北海道医療	0	神奈川	14
東宮北	1	酪農学	1	関東学院	11
城教	1	東北福祉	1	敬和	1
山形	1	国際医療福祉	2	新潟国際情報	4
福茨	2	獨逸国際	4	新潟薬科	42
茨城	0	東京国際	0	新潟青陵	11
筑波	0	文京学院	8	新潟医療福祉	19
宇都宮	0	青森学院	7	金沢工業	10
群馬	3	亜細亜	5	北陸	0
群馬	3	桜美	2	中山	1
埼玉	3	学習	3	南山	1
千葉	1	北杏	4	同志	1
東京外国語	1	杏林	4	立命	10
電気通信	0	立音	1	関西	1
東京工業	0	慶義	2	近畿	1
東京芸術	0	工学	5	関西	1
東京芸	1	駒工	3	その	1
一橋	2	上智	11	私立大学合計	583
横浜国立	2	昭和	4	文部科学省管轄外	1
新潟	48	成女	13	看護大学	1
岡技術科	1	成城	5	農業大学	0
上越	4	専修	5	文科学省管轄外計	1
富山	1	大東	23	国公立短期大学	17
金沢	1	拓文	11	国立清水海技短	1
信州	3	拓殖	0	長野県立短大	0
京都	0	玉川	4	信州大医療短	0
京都	0	中津	17	県立新潟女子短	15
大阪	1	田塾	1	新潟県立看護短	0
広島	1	帝京	6	大月市立大月短	1
九州	1	東海	15	その	0
琉球	0	東京	6	国公立短期大学計	17
札幌	3	京電	3	私立短期大学	1
札幌	1	東京	7	専修北海道短	0
札幌	1	東京	6	青山学院女子短	0
国際	1	東京	10	昭和女子短	0
埼玉	1	東邦	2	実践女子短	0
高崎	2	立家	16	共立女子短	0
首都大	1	東智	38	東大短	0
新潟	4	上智	0	新潟青陵女子短	3
新潟	1	新青	1	その	1
石川	0	所	23	私立短期大学計	5
静岡	0				
京都	0				
神戸	0				

新課程入試2年目となる平成19年度大学入試センター試験は、志願者55万3,152人(前年比0.4%増)、受験者51万1,272人(同1.0%増)で、ともに3年連続の減少に歯止めをかけた。私立大センター試験利用入試における現役志願者層の拡大や専門学校から大学への進学転換の一層の拡大などで、現役と女子の増加が全体を押し上げる形となりました。センター試験の平均点の比較につきましては、英語は前年高得点のリスニングが3.8点ダウン(≪32.5点≫)しましたが、筆記が3.6点アップ(≪131.1点≫)し、「筆記+リスニング」は0.2点ダウン(≪130.8点≫)でほぼ前年並、英

語のほかは、国語が前年比マイナス15.5点(≪110.1点≫)、物理Iがマイナス9.0点(≪64.4点≫)、数学II・Bがマイナス8.8点(≪48.9点≫)、数学I・Aがマイナス8.3点(≪54.1点≫)、現代社会がマイナス7.6点(≪50.3点≫)、地理Bがマイナス6.7点(≪58.4点≫)、化学Iがマイナス2.7点(≪61.4点≫)、生物Iがマイナス2.6点(≪67.0点≫)など理系科目が軒並みダウンしている中、日本史Bがプラス12.3点(≪67.0点≫)、政治経済がプラス3.3点(≪64.4点≫)、世界史Bがプラス1.5点(≪67.8点≫)など、文系科目のアップが目立ちました。その結果、「国語+地歴+公民+数学2科目+理科1科目+英語」の文系標準型(900点満点)では、前年比マイナ

ス39.2点(≪525.1点≫)、「国語+地歴+公民から1科目+数学2科目+理科2科目+英語」の理系標準型(900点満点)では、前年比マイナス42.5点(≪529.7点≫)となりました。このセンター試験の難化を受け最終的な入試戦線は、「国公立大難関校では少数激戦・私立大ブランド校は難化」という展開となりました。

このような状況の下、本校では86名の卒業生が国公立大学に現役合格を果たしました。昨年度の126名と比べると見劣りはしますが、国立大志望のクラスと私立大志望のクラス数が1クラス分逆転してしまつたことが少なからず影響していると思われ、またそんな中で、国公立大学

医学部医学科には3年連続の現役合格、難関大では北海道・東北・東京外国語・金沢・大阪・広島などに現役合格を果たしていることは一定の評価ができるものと思われ、現役による進学率は、昨年度の78.4%と比べると今年度の73.9%は大きく下降したように見えますが、平成十六年度の66.0%、平成十七年度の74%と比べれば着実に上昇しており、「入りたい大学に現役で決める時代」という傾向が今年も続いているといえるのではないのでしょうか。

来年の平成20年度入試では、国公立大学の後期日程廃止が更に進むことや、何といつても18歳人口の6万人減少(≪前年度比の減少率として過去10年間で最大≫)など、大学のランク間においても格差を拡大させるような予断を許さない状況が待ち受けています。

しかし受験生の諸君には、受験教科の絞込みや志望校の変更など安易な妥協をすることなく本校の伝統である「好學」の精神で、一刻も早くセンター試験および記述試験対策を含めた志望校対策を本格的なものにし、最後まで粘り強く学習を継続することで見事来春の栄冠を勝ち取ってほしいものと思っております。

平成十九年度

明訓祭

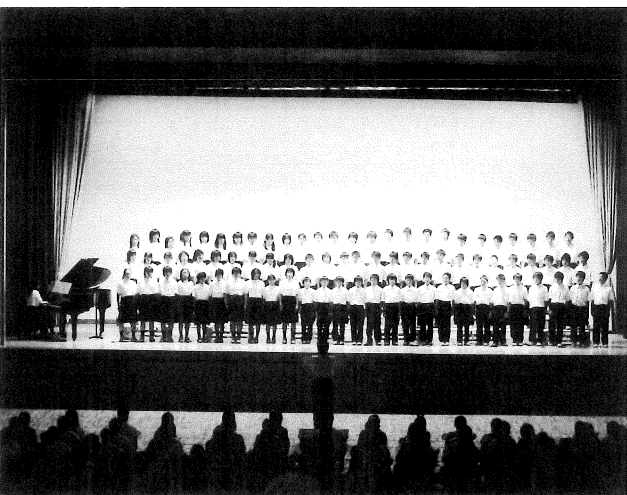
『永縁く創想く』

恒例の明訓祭が、六月九日に盛大に行われました。今年度は、中学校が開校して初めての文化祭ということで、中学生の展示発表が加わったり、開会式では、サプライズとして、中学生による透き通るような合唱があったりと、多少例年とは違った企画もありました。

恒例の明訓祭が、六月九日に盛大に行われました。今年度は、中学校が開校して初めての文化祭ということで、中学生の展示発表が加わったり、開会式では、サプライズとして、中学生による透き通るような合唱があったりと、多少例年とは違った企画もありました。



▲壁画作品



▲中学生の合唱

今年初の参加となった中学生も、限られた時間の中で、一生懸命取り組んでいました。三教室を使って、英語や美術などの学習発表から、日常の様子やクラブ活動などについて、詳



▲中学生展示会場

細かつ中学生らしくかわいらしい展示発表でした。さて、明訓大賞は、巨大鶴を作製した二年一組の「美意識花情」(教室展示部門)でした。以下、各部門賞を紹介します。

- ☆教室展示部門 一年八組「カタギリ♡スイッチ」 ☆教室演劇部門 三年一組「世紀末伝説」 ☆ステージ部門 三年七組「シンデレラくガラスの靴を取り返せ」 ☆前庭構築物部門 二年十組「Com on カモン 歌門」

- ☆教室展示特別賞 中学一年 A・B組 ☆奨励賞 三年十組 (教室演劇)

修学旅行 学びの旅

今年の修学旅行は八月二九日から三泊四日で、広島・京都を訪れる日程で実施しました。例年以上に広島での活動範囲を充実させ、平和学習と日本の伝統文化を肌で感じる内容を企画しました。

世界遺産の厳島神社の早朝参拝を可能にしました。当日は大潮で、早起きした生徒は大鳥居まで歩いて行き、鳥居に触れたり記念撮影を楽しみました。自然現象を体験する、貴重な体験となりました。広島での昼食は、焼きたて



▲厳島神社での記念撮影

のお好み焼きを味わいました。目の前の大きな鉄板で一度に何枚ものお好み焼きを焼き上げる店員の手際の上よきに、みな感動していました。

平和公園では原爆ドームに原爆の子の像、原爆死没者慰霊碑をバスガイドに案内してもらい、平和資料館を自由見学しました。生徒が最も精神的に衝撃を受ける見学地で、本物の展示資料を目の前にして、戦争の恐ろしさと平和の尊さを感じ取っていました。平和資料館の自由見学の後、被爆体験講和を聴きました。事前学習で、今年の夏話題となったドキュメンタリー映画『ヒロシマナガサキ』を観て

いたので、被爆者の小松さんのお話にも真剣に耳を傾け、ハンカチで涙を拭う生徒さえいました。



▲広島で被爆者小松さんの話を真剣に聞く

つづく「錦帯橋」、③広島大学訪問のいずれかのコースに分かれ、研修をしました。

京都では一日別自由行動を設け、清水寺や金閣寺、銀閣寺や太秦映画村など市内各地を精力的に巡っていました。午前中は時折激しい降雨があり、京都の盆地特有の蒸し暑さも倍増されましたが、生徒たちは元気に、満足そうな表情で宿に戻ってきました。

中越沖地震の影響で直江津でバスに乗換えて新潟駅まで帰って来たため、夜の八時を過ぎる到着となりました。

# 部活動報告

— 各科目覚ましい活躍 —

## 【運動部】

### ◎陸上部

《新潟市陸上競技選手権大会》

4/29～30 新潟市陸上競技場

一般男子

- 男子4×100M リレー
- 男子100M 第1位 土屋 健太
- (樋口・土屋・中村・渡辺)

- 男子200M 第2位 樋口 智彦
- 男子400M 第2位 関 修人
- 男子110H 第3位 大滝 涼馬
- 男子100M 第2位 神田 大陽
- 男子3000SC 第2位 坂上 歩夢
- 男子三段跳 第2位 福田賢一郎

一般女子

- 女子100M 第2位 田中 泉
- 女子200M 第3位 児玉奈央美
- 女子400M 第2位 幸村 美歩

《第57回中越陸上競技選手権大会》

5/3～4 長岡市陸上競技場

男子

- 男子4×100M リレー
- (吉村・土屋・中村・渡辺)
- 男子走幅跳 第2位 渡辺 正人
- 男子砲丸投 第2位 小川 貢
- 男子110H 第3位 神田 大陽
- 男子400M 第4位 大滝 涼馬
- 男子100M 第5位 中村航太郎
- 男子200M 第6位 渡辺 正人

- 女子4×100M リレー
- (佐野・児玉・内山・田中)
- 女子100M 第1位 田中 泉
- 女子200M 第3位 児玉奈央美
- 女子400M 第2位 幸村 美歩
- 女子400M 第4位 松原 ゆか

《春季新潟・下越地区陸上競技会》

5/10～12 新潟市陸上競技場

男子

- 男子110H 第1位 神田 大陽
- 男子走幅跳 第1位 渡辺 正人
- 男子200M 第2位 樋口 智彦
- 男子3000SC 第3位 吉岡 史則
- 男子4×100M 第2位 坂上 歩夢
- (樋口・土屋・中村・渡辺)
- 男子4×400M リレー
- 男子800M 第3位 比企 巧
- 男子400MH 第3位 神田 大陽
- 男子学校総合 第2位
- 男子 計21個人賞(8位)

- 女子4×100M リレー
- (佐野・児玉・内山・田中)
- 女子4×400M リレー
- (松原・幸村・佐藤・島田)

《新潟県総合体育大会陸上競技会》

5/25～27 新潟スタジアム

男子

- 男子4×100M リレー
- (樋口・土屋・中村・吉岡)
- 男子200M 第1位 吉岡 史則
- 男子110H 第2位 樋口 智彦
- 男子100M 第5位 中村航太郎
- 男子110H 第1位 神田 大陽
- 男子走幅跳 第1位 渡辺 正人
- 男子800M 第3位 比企 巧
- 男子4×400M 第6位 佐藤 辰巳
- 男子4×400M リレー
- (中村・関・真貝・大滝)
- 男子400M 第6位 関 修人
- 男子学校総合 第2位
- 男子トラック総合 第1位

- 女子砲丸投 第2位 拝野紗生子
- 女子100M 第3位 児玉奈央美
- 女子400M 第3位 幸村 美歩
- 女子学校総合 第3位
- 女子 計11個人賞(8位)
- 男女34名県総体出場権獲得



《平成19年度高校1・2年生  
バドミントン大会 8/24  
鳥屋野体育館・  
西総合スポーツセンター》

男子  
・B級シングルス  
三回戦進出 嶋津 龍弥  
三回戦進出 春日 悟  
B級ダブルス  
第3位 藤田・奥田  
ベスト8 清水・織戸  
C級シングルス  
第2位 小泉 宙夢  
三回戦進出 青木 悠

女子  
・B級シングルス  
ベスト8 斉藤 由貴

◎空手部  
《春季新潟地区空手道大会》  
・女子個人形  
優勝 坂口 世弥  
・女子個人組手  
優勝 坂口 世弥

《新潟県高等学校総合体育大会  
空手道大会 5/26-27  
新潟市鳥屋野総合体育館》

・女子個人形  
第3位 坂口 世弥  
(北進越大会出場)

◎テニス部  
《春季下越地区テニス大会  
5/7-8  
五十公野公園テニスコート》

・男子シングルス  
ベスト16 北村 圭太

《春季下越地区テニス大会  
5/7-8  
胎内市国際交流公園テニスコート》

・女子シングルス  
ベスト16 中島 玲佳

《下越地区1・2年生テニス大会  
8/1-2  
胎内市国際交流公園テニスコート》

・女子シングルス  
ベスト8 中島 玲佳

《下越地区1・2年生テニス大会  
8/1-2  
五十公野公園テニスコート》

・男子シングルス  
ベスト8 向井 竣一  
男子ダブルス  
第3位 向井・山田

《全国選抜1次予選テニス大会  
8/20-21 新潟市庭球場》

・男子団体ベスト8  
県大会出場

・女子団体ベスト8  
県大会出場

《秋季下越地区テニス大会  
9/3-4  
五十公野公園テニスコート》

・男子シングルス  
ベスト8 向井 竣一  
ベスト16 山田 拓也  
男子ダブルス  
第3位 向井・山田

《第35回三条杯争奪  
高等学校剣道大会 4/29  
三条市総合体育館》

・女子団体 優勝  
優秀選手 関川 友香

《平成19年度春季新潟地区剣道大会  
5/11-12 黒崎総合体育館》

・男子団体 2位  
女子団体 優勝

《第60回新潟県高等学校総合  
体育大会剣道大会 6/1-3  
亀田総合体育館》

・男子団体 3位  
女子団体 優勝  
(北信越大会出場)

《若潮旗剣道大会 8/22-24  
館山総合体育館》

・女子団体 3位  
女子個人 優勝  
(北信越大会・  
インターハイ出場)

《第28回北信越国民剣道大会  
8/25-26 福井県立武道館》

・女子個人 優勝  
関川 友香・堀 佳奈美・  
齊藤 優  
(秋田団体会場)

《平成19年度秋季新潟地区  
剣道大会 9/8-9  
万代高校》

・男子団体 第2位  
男子個人 第3位 中村 大亮  
永井 渉太  
女子団体 第3位 堀 佳奈美  
女子個人 第1位 齋藤 優  
女子個人 第2位 高橋 愛子  
女子個人 第3位 平原 侑加  
女子個人 第2位 関川 友香

《第45回北信越高等学校  
剣道大会 6/15-17  
長岡市榎尾体育館》

・男子団体 2位  
女子団体 優勝  
(6年連続10回目)

◎剣道部

《第35回三条杯争奪  
高等学校剣道大会 4/29  
三条市総合体育館》

《全国高等学校体育大会  
8/7-9 佐賀総合体育館》

《山内旗剣道大会  
8/15-17 東京武道館》

《若潮旗剣道大会 8/22-24  
館山総合体育館》

《第28回北信越国民剣道大会  
8/25-26 福井県立武道館》

《平成19年度秋季新潟地区  
剣道大会 9/8-9  
万代高校》

《第89回全国高等学校野球  
選手権新潟大会  
7/13-8/1  
悠久山球場 他》

《第116回北信越地区高等学校野球  
新潟地区予選 4/28-5/5  
鳥屋野球場》

《第116回北信越地区高等学校野球  
新潟地区予選 4/28-5/5  
鳥屋野球場》

《第117回北信越地区高等学校  
野球新潟県大会 9/15-23  
鳥屋野球場・五十公野球場》

《第89回全国高等学校野球  
選手権大会 8/8-22  
阪神甲子園球場》

《第116回北信越地区高等学校野球  
新潟地区予選 4/28-5/5  
鳥屋野球場》

《第117回北信越地区高等学校  
野球新潟県大会 9/15-23  
鳥屋野球場・五十公野球場》

第3位 堀 佳奈美  
第3位 平原 侑加  
優秀選手 八子 圭介・  
関川 友香

《全国高等学校体育大会  
8/7-9 佐賀総合体育館》

《山内旗剣道大会  
8/15-17 東京武道館》

《若潮旗剣道大会 8/22-24  
館山総合体育館》

《第28回北信越国民剣道大会  
8/25-26 福井県立武道館》

《平成19年度秋季新潟地区  
剣道大会 9/8-9  
万代高校》

《第89回全国高等学校野球  
選手権新潟大会  
7/13-8/1  
悠久山球場 他》

《第116回北信越地区高等学校野球  
新潟地区予選 4/28-5/5  
鳥屋野球場》

《第116回北信越地区高等学校野球  
新潟地区予選 4/28-5/5  
鳥屋野球場》

《第117回北信越地区高等学校  
野球新潟県大会 9/15-23  
鳥屋野球場・五十公野球場》

《第89回全国高等学校野球  
選手権大会 8/8-22  
阪神甲子園球場》

《第116回北信越地区高等学校野球  
新潟地区予選 4/28-5/5  
鳥屋野球場》

《第117回北信越地区高等学校  
野球新潟県大会 9/15-23  
鳥屋野球場・五十公野球場》

《第89回全国高等学校野球  
選手権大会 8/8-22  
阪神甲子園球場》

《第116回北信越地区高等学校野球  
新潟地区予選 4/28-5/5  
鳥屋野球場》

《第116回北信越地区高等学校野球  
新潟地区予選 4/28-5/5  
鳥屋野球場》

《第117回北信越地区高等学校  
野球新潟県大会 9/15-23  
鳥屋野球場・五十公野球場》

《第89回全国高等学校野球  
選手権大会 8/8-22  
阪神甲子園球場》

《第116回北信越地区高等学校野球  
新潟地区予選 4/28-5/5  
鳥屋野球場》

《第117回北信越地区高等学校  
野球新潟県大会 9/15-23  
鳥屋野球場・五十公野球場》

《第89回全国高等学校野球  
選手権大会 8/8-22  
阪神甲子園球場》

《第116回北信越地区高等学校野球  
新潟地区予選 4/28-5/5  
鳥屋野球場》

《第117回北信越地区高等学校  
野球新潟県大会 9/15-23  
鳥屋野球場・五十公野球場》

《第89回全国高等学校野球  
選手権大会 8/8-22  
阪神甲子園球場》

《第116回北信越地区高等学校野球  
新潟地区予選 4/28-5/5  
鳥屋野球場》

《第117回北信越地区高等学校  
野球新潟県大会 9/15-23  
鳥屋野球場・五十公野球場》

《第89回全国高等学校野球  
選手権大会 8/8-22  
阪神甲子園球場》

《第116回北信越地区高等学校野球  
新潟地区予選 4/28-5/5  
鳥屋野球場》

《第116回北信越地区高等学校野球  
新潟地区予選 4/28-5/5  
鳥屋野球場》

《第117回北信越地区高等学校  
野球新潟県大会 9/15-23  
鳥屋野球場・五十公野球場》

《第89回全国高等学校野球  
選手権大会 8/8-22  
阪神甲子園球場》

《第116回北信越地区高等学校野球  
新潟地区予選 4/28-5/5  
鳥屋野球場》

《第117回北信越地区高等学校  
野球新潟県大会 9/15-23  
鳥屋野球場・五十公野球場》

《第89回全国高等学校野球  
選手権大会 8/8-22  
阪神甲子園球場》

《第116回北信越地区高等学校野球  
新潟地区予選 4/28-5/5  
鳥屋野球場》

《第117回北信越地区高等学校  
野球新潟県大会 9/15-23  
鳥屋野球場・五十公野球場》

《第89回全国高等学校野球  
選手権大会 8/8-22  
阪神甲子園球場》

《第116回北信越地区高等学校野球  
新潟地区予選 4/28-5/5  
鳥屋野球場》

《第117回北信越地区高等学校  
野球新潟県大会 9/15-23  
鳥屋野球場・五十公野球場》

《第89回全国高等学校野球  
選手権大会 8/8-22  
阪神甲子園球場》

《第116回北信越地区高等学校野球  
新潟地区予選 4/28-5/5  
鳥屋野球場》

《第117回北信越地区高等学校  
野球新潟県大会 9/15-23  
鳥屋野球場・五十公野球場》



◎水泳部

《春季新潟地区水泳大会》

5/22 新潟西海岸プール

男子800Mリレー

第3位

男子100Mバタフライ

第3位 加藤 悠一

男子200M平泳

第3位 樋山 瑛

女子200Mバタフライ

第3位 菅原 真梨

《新潟県総合体育大会水泳大会》

6/22、24

新潟西海岸公園プール

男子メドレーリレー

第7位

加藤悠一・樋山 瑛・堀川大輔・永井勇祐

男子100M平泳

第3位 樋山 瑛

男子200M平泳

第6位 樋山 瑛

女子100Mバタフライ

第6位 菅原 真梨

女子200Mバタフライ

第7位 菅原 真梨

《北信越水泳大会》7/20、22

富山市富山市民プール

女子200Mバタフライ

第8位 菅原 真梨

《第19回新潟県高等学校秋季体育大会水泳大会》

9/4 長岡市悠久山プール

男子200M平泳

第3位 樋山 瑛

◎相撲部

《新潟県総合体育大会相撲競技会》

6/2 海洋高等学校相撲場

男子 80Kg未満級

優勝 鈴木 一寿

《第2回全日本ジュニア体重別選手権大会北信越ブロック予選会》

6/16 富山県体育協会相撲場

男子 80Kg未満級

優勝 鈴木 一寿

《新潟県体重別相撲選手権大会》

9/2

男子 軽量級

優勝 鈴木 一寿

《新潟県高等学校総合体育大会》

6/2、3 新発田市市民文化会館

審査員賞

「パラドックス」葛藤する

私とワタシ

《新潟県高等学校春季囲碁大会》

5/19、20 敬和学園高等学校

団体戦 男子 優勝

坂井秀一・石川哲生・篠崎仁志(全国大会出場)

団体戦 女子 優勝

藤澤春奈・大滝華夏・佐々木茜(全国大会出場)

女子個人(Dブロック)

優勝 佐々木 茜

(全国大会出場)

《新潟県高等学校文化連盟将棋大会》

5/12、13 新潟向陽高等学校

男子 個人 優勝

出口 太陽

(全国大会出場)

《第20回全国高校将棋竜王戦県大会》

6/17 クロスバルにいがた

男子 個人 優勝

出口 太陽

(全国大会出場)

◎将棋部

《新潟県高等学校文化連盟将棋大会》

5/12、13 新潟向陽高等学校

男子 個人 優勝

出口 太陽

(全国大会出場)

《第20回全国高校将棋竜王戦県大会》

6/17 クロスバルにいがた

男子 個人 優勝

出口 太陽

(全国大会出場)

◎写真部

《県高文連 写真専門部》

第11回撮影大会

5/25、26 新潟会館

新潟市音楽文化会館

大賞 大嶋 玲奈

大賞 大竹 真依

特選 本間鉦次郎

奨励賞 須藤 結花

奨励賞 本間美成実

奨励賞 中田 圭

奨励賞 新沢 祐貴

入選 田中 彩

入選 張替 雅史

《第54回NHK杯全国高校放送コンテスト県予選》

6/22 新潟市音楽文化会館

朗読部門

第1位 村木 友香

アナウンス部門

第1位 白井愛希彩

ラジオドキュメント部門

第1位

「みんながしてるから…」

以上全国大会出場

◎インターアクト部

《献血功労者表彰式》

9/7 県自治会館

献血功労者特別表彰

学校だけではない県内の

10団体が表彰

◎書道部

《第12回全日本高校・大学生書道展》

8/21、26 大阪市立美術館

優秀賞 武田 翔子

準優秀 竹石 洸

準優秀 白砂 萌子

準優秀 小池 夏妃

準優秀 野村 珠紀

準優秀 石井 千晶

準優秀 田村 彩

準優秀 佐藤 由季

準優秀 茅原 玄道

# 全国大会への道

## 陸上部

### 4×400mリレーで

### 男女アベック出場!!

陸上競技部部長 中村 航太郎

近年の陸上競技部は毎年20人近くもの部員がインターハイに出場し、北信越でもトップとなるインターハイ出場人数を誇るチームとなった。しかし、その活躍は部長という自分の立場においてプレッシャーとなるが多かった。

特に今年は昨年のインターハイで華々しい活躍をした分、本当の強さが試される年となったからである。つまり、自分たちの代では伝統に見合った練習や大会での行動、チームの雰囲気作り、そして結果、すべてが要求される厳しいも

のとなった。

そのために、冬期練習に入る前に部訓である「絆走」の意味を全員で確認し合い、部則も新たに、心身共に鍛える冬としてスタートを切った。冬期練習に入るとうまくいかない面もあったが、シーズンが近づくにつれて全体の士気も高まり最高の状態でシーズンインできた。

伝統種目となりつつある4×400mリレーでは男女アベック取り、個人種目も含めて昨年以上の計19名ものインターハイ出場を実現することができ





た。  
ついに3年間の集大成とな

## 剣道部

### 団体で予選リーグ2位!!

剣道部 (女子)  
関川 友香

新チームがスタートし、県外で行われる全国の強豪校が多く参加する大会で優勝や上位入賞するなど、好調なスタートを切りました。私たちは、「全国優勝」という目標を改めて誓いました。そしてむかえた全国選抜大会予選。昨年、一昨年と逃していたため、今

るインターハイが佐賀県で行われた。台風によるレースの延期や競技時間の大幅な変更もあったが、厳しい環境に怯まず全員で明訓陸上競技部らしい作品を全国の最高の舞台で表現できたと思う。自分としては目標であった4×100mリレーの決勝進出を強く描き大会に臨んだ。残念ながら準決勝で敗退し、全体の13位という結果に終わってしまったがベストを尽く

年こそはという思いで挑みました。しかし、またも決勝で敗れ、最初の全国大会の切符を逃してしまいました。私たちは、この日の悔しさをバネにし、夏のインターハイに向けて更に稽古に励みました。落ちこんでいる暇はない、このままでは終れないという思いが私たちの中にありました。「全国優勝」を達成するためにもう失敗は許されません。絶対にこのチームで全国に行つて勝ち上がろう、と

したので悔いはなかった。今年の陸上競技部はインターハイでの入賞種目はなかったが、昨年にも負けない強いだけではなく、いいチームだったと思う。三段跳びに例えると今年はホップの年として我々の代で先輩たちに大きな弾みをつけさせることができたとと思う。来年以降ステップ・ジャンプともう一度、全国総合優勝を狙えるチームになるように頑張ってもらいたい。最後に中学校時代ほぼ無名の我々をここまで遅く育ててくださった金子先生、深瀧先生、また応援してくれた多くの方々感謝いたします。ありがとうございました。



という思いを更に強め、チーム一丸となつて、練習・遠征に励みました。そしてむかえたインターハ



剣道部女子 北信越大会優勝

イ予選。前回、負けて全国を逃した時の悔しさを思い出し、絶対に勝とうと誓いました。チーム全員が一つになつて戦い、ようやくインターハイへの切符を勝ち取ることができました。

豪守谷高校、全国常連の伝統校である磐田西高校との対戦で、三つ巴の様相と言われる程、厳しいリーグでした。明訓、守谷ともに磐田西に3-0で勝ち、一勝。予選リーグを突破するには守谷を倒さなければいけませんでしたが、1-0で敗れ、決勝トーナメントには進めませんでした。

た。納得いく結果は出せませんでした。が、これまで仲間と共に一つの目標に向かって頑張つてくれたことで、たくさんの方から応援が寄せられました。苦しい時もありました。そんな時も仲間がいたから乗り越えられました。また、家族や多くの方々が支え、励ましてくださり、そして先生方がどんな時も一生懸命ご指導してくだ

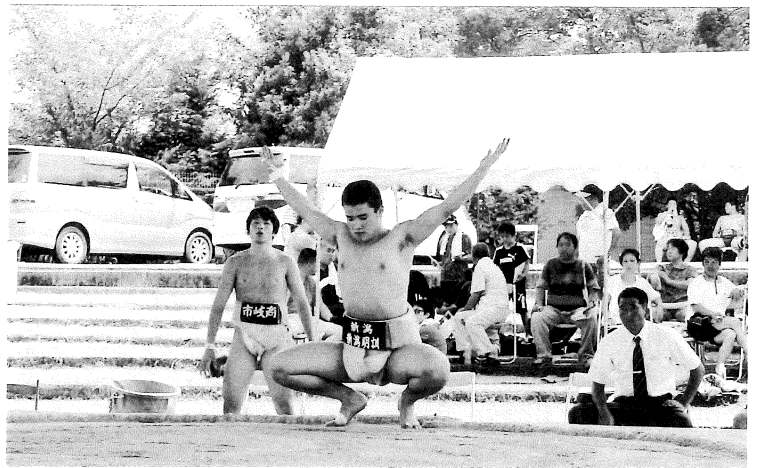
## 相撲部

### 全日本体重別相撲選手権大会出場

鈴木 一寿

皆さんも知つての通り、今、この明訓高校には相撲部が存在していない。昔はあったようだが、それはまだ明訓高校が亀田ではなく川岸町にあった40年以上も前のことである。そんな中、今年、自分は全国大会へ出場することができた。他に部員が誰もいない状態で明訓高校で相撲をするというのはとても大変なことである。それでも自分は小学生から続けてきた相撲をやめ

さつたからこそ、これまでやってこることができました。言葉では言いきれない程、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。私は、新潟明訓高校剣道部でたくさんの方を学び、目標に向かって無我夢中になつてやってこれたことを本当に嬉しく、誇りに思います。後輩たちには、私たちができなかった「全国制覇」という目標に向け、更に頑張つてほしいと思います。私たち3年生も、この3年間で得たことを生かし、それぞれの道に向かって頑張つていきます。



また、大会で勝つためにはそれなりの稽古をしなければならぬ。自分は五泉市の相撲場で普段稽古をしている。しかし、それは週に2回しかすることができなかった。他校の相撲部は毎日厳しい稽古をしているのに、週に2回の稽古ではどこの相撲部にも負けてしまう。その分はやはり自分でなんとかしなければならぬ。空いている時間を見つけて他の高校に出稽古にも何度も行った。そこでも失礼のないように、前々からしっかりと他校の相撲部の先生に連絡をとった。普通は顧問の先

分を鍛えるためにトレーニングをした。一人ですることが

生がすることも自分がしなければならぬ。自分とは大きな負担になつた。それでも、負けたくない一心で他校の稽古にも積極的に参加した。しかし、それだけでは毎日の稽古にはかなわないことわかってきた。だから自分は毎日、家で自

苦になるようではスポーツは強くなれない。やはり毎日の積み重ねが大事だと思う。より上の大会で勝つためにできることは全てやって大会に臨むようにしていた。その日々の努力のおかげで全国大会へ出場できたと思う。しかし、全国ともなるとレベルがあきらかに北信越とは比べものにならない程に上がっていた。結果は8戦して1勝しかすることができず8位という結果に終わった。

今回、全国大会まで出場することができたが、自分はまだ満足していない。辛いことに自分はまだ今年も二年生、また来年がある。来年は今年の経験を生かして、全国大会で優勝し、さらには世界大会へ出場することを目標に、これからも精進していきたい。

### 囲碁部

#### 「十年連続の出場」

#### 大滝華夏

今年、囲碁部は三年生の男子五名と二年生の女子五名で県大会に臨み、団体戦ではアベック優勝、個人戦では二年・佐々木茜さんが二位を獲得し、見事全国大会への出場を決めました。明訓高校囲碁

部はそれまで、九年連続全国大会に出場しており、十年目である今年も無事勝ち進むことができました。私にとって、団体戦で全国大会に行くのはとても大きな喜びでした。囲碁を始めてま



だ一年もたたないのに、全国大会に行けるなんて、何か実感が湧きませんでした。会場である日本棋院を実際に目の当たりにすると、それまでの高揚していた気持ちが緊張に変わり、自分達は新潟県の代表なのだと思え、自覚しました。

- 女子の団体戦初戦
- 二―一 勝ち
- 第二戦
- 〇―三 負け
- 第三戦
- 〇―三 負け
- 男子の団体戦初戦
- 〇―三 負け
- 第二戦
- 〇―三 負け
- 第三戦
- 一―二 負け

今年、5月に顧問の田中先生から、大会に出てみないかと言われました。僕はわけあって一年半ほど将棋から離れていたのですが、最初はあまり気が進みませんでした。しかし、周りの人々からの勧めもあって出ることにしました。

### 将棋部

#### 出口太陽

県大会は二つあり、ブランクがあったためとても不安だったのですが、両方とも無事に優勝することができました。全国大会は7月に島根に、8月に福岡に行ってきました。7月の島根大会は、予選

で有意義な経験となりました。三年生の先輩方にとって引退試合となった今大会。最後の対局を日本棋院という立派な会場で、全国大会とい

う素晴らしい形で引退していただきたいです。本当にありがとうございました。また来年も全国大会へ行けるように、日々練習をしていきたいと思っています。



う素晴らしい形で引退していただきたいです。本当にありがとうございました。また来年も全国大会へ行けるように、日々練習をしていきたいと思っています。

の一回戦目でいきなり負けてしまい、とても悔しかったのですが、残りの3戦は気持ち切り換えて臨み、全て勝つことができました。しかしスィス方式では勝ち方が悪く、予選落ちしてしまいました。同じ3勝1敗でも予選を通過してた人がいたので、少し納得がいかなかったのですが、終わってしまったことは仕方ないので8月の大会に向けて気持ち切り換えることにしました。

そして8月、福岡での大会は島根での大会とは違った雰囲気になっていました。皇族の方が御出席なさるということもあって厳格な雰囲気でも緊張感が張りつめていました。大会独特の空気に呑まれてしまったけれど、楽しんで将棋を指そうと考えていたので、あまり緊張しないで大会に臨めました。予選は全勝で通過することが出来たのですが、本戦の2回戦目で負けてしまいました。やはり、本戦はトーナメントなので、プレッシャーも強く、必然的に当たる相手も強くなってくるので厳しかったです。負けてしまったけれど、「楽しんで将棋をする」という目標は達成できたので良かったです。そして、最初で最後の大会で全国に行けて良かったです。さて、書くことが無くなってきたので明訓将棋部の紹介

でもしておきます。まず、部員の紹介ですが、自分一人しかいないのでやめておきます。次に活動の紹介ですが、本当に活動してんのか?と思っている方もいると思います。活動は何にもしてませんが、まあ一人しかいないので活動をしたいだけでもできません。なので将棋部は基本的に毎日オフです。

## 放送部

### 新入部員募集中!

放送部はこの夏二つの全国大会に出場しました。1つは7月24日から26日まで東京で行われた「第54回NHK杯全国高校放送コンテスト」で、平成6年から14年連続で出場しています。もう1つは8月1日・2日に島根県の松江市で開かれた「全国高等学校総合文化祭」で、こちらは平成



朗読部門  
3年 村木 友香さん

なんにもしてない将棋部ですが、部員が三年の自分一人だけなので存続の危機に陥っています。自分が入ったときには5、6人いたのですが、気がいたら一人になっていました。このままだと来年には将棋部はなくなってしまうます。顧問の田中先生が悲しむので誰か入ってあげて下さい。お願いします。



アナウンス部門  
3年 白井愛希彩さん

9年から11年連続で出場しています。NHK杯では朗読部門に出場した三年三組の村木友香さんが準決勝に勝ち上がり、全国4000人以上参加した中で、60人以上に入賞する快挙をなしました。一年生からコツコツと練習を重ねてきた努力のたまものです。残念

## 写真部

### 衝撃と感動を体験!

### 大矢みき

ながら番組系は入賞できず、全国の壁の厚さを痛感しました。現在、放送部員は7人で、

二年生がおらず、三年生が卒業すると、一年生4人になってしまいます。新入部員を待っています!

全国大会の壁は高く、厳しいものでした。体調を崩してしまうというアクシデントがありました。全国のレベルの高さと、写真の楽しさを感じることができました。大きな衝撃と感動が全国の写真にはあって、今まで県レベルの写真しか見てこなかった私は、写真をあなどっていた自分の浅はかさを自覚し、本当に恥ずかしく思いました。全国の何百点もの写真には一つ一つに深いドラマ性や魅力があつて、撮影者一人一人の世界観を強く感じました。こんな撮り方もあったのか、こんな感じ方もあったのかと感動・後悔の嵐、嵐でした。

また、大会初日には、島根でお祭りがあり、華やかでエネルギーに満ちたとても楽しいものでした。人ごみにもまねながら夢中でシャッターをきっていたのをよく覚えていません。例えば、写真を撮りはじめて間もない頃の私は右も左もわからないまま、ただただ重たい一眼レフカメラを持つておるおるするばかりで、先輩の見よう見真似で構図を考えて撮ったり、先生のアドバイスを参考に撮ったりと、どちらかと言うと受身的に写真を撮っていました。だんだん撮影会を重ねるにつれて、部内の友人同士でああでもない、こうでもない構図を考

え、視点を変えて、自発的に写真を撮っていくことが多くなっていきました。何本もフィルムを空にして、いろんな風景や被写体にレンズを向け、どんな写真になるだろうかとわくわくしながらシャッターをきる時間がとても好きでした。流れるように過ぎていった3年間で、そうやって撮り続けてきた写真だけが私の青春でただ一つ残ったものです。写真はどんなアルバムや文集よりも雄弁に思い出を語ります。

私がこんなにも長い間写真を撮り続けることができたのは、自分が写真を撮ることが好きだということもありましたが、それよりも写真が赤の他人と自分をつなぐ手段であったからだと思います。自分以外の人間の全てを理解することはできません。長い時間を共有した相手であっても気持ちまでは共有できませんが、相手の撮った写真を見て、その視点・思い出を共有することはできます。普段あまり話すことのなかった同じ部の人の、美しい風景写真を見て、「この人の目はこんな風に世界を映しているのだなあ」と感動する時、私はその人の視点に立って世界を見ることができて、その人に少しでも近づけたのだと思うといつも嬉しくなります。

野球部

創部六十周年・節目の年に  
北信越大会初優勝  
夏の甲子園ベスト16  
秋の国体に初出場

御礼

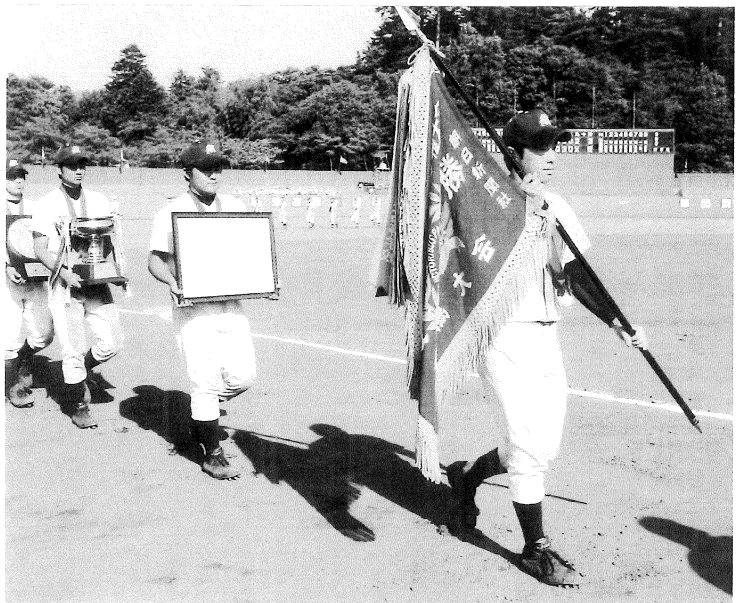
野球部部长 波間 一孝

第八十九回全国高等学校野球選手権大会における野球部の出場に際しまして、同窓会の皆様には物心両面にわたる温かいご声援とご支援を賜りましたこと。篤く御礼申し上げます。また現地で私たちを温かく迎えて下さった関西明

訓会の皆様には心より感謝申し上げます。  
一昨年の甲子園出場から三年連続で決勝に駒を進めた明訓野球部。これはⅢ類型の成果と言えるでしょう。陸上部・剣道部と共にプライドを持って頑張っているⅢ類の生



県大会・優勝の瞬間



県大会・優勝旗を先頭に勝利の行進

徒、そしてそれに負けじと切磋琢磨したⅡ類の生徒たち。彼等の頑張りが明訓野球部のみならず、新潟県の歴史に新たな一ページを刻んでくれました。  
昭和二十二年に誕生し幾多の名勝負を県高校野球史に残してきた本校野球部は、今年創部六十周年を迎えました。また学校では中高一貫教育もスタートしました。このような節目の年に、初の北信越制覇。夏も県制覇、そして甲子園でも本校初の二勝を挙げてくれました。秋の国体にも初出場します。

昨夏、決勝で敗退した悔しさを胸にスタートした今年のチームは、三年生を中心に逞しいチームに成長しました。新聞紙面では投手の活躍が大きく取り上げられました。野球は一人の力で勝てるスポーツではありません。レギュラーとして責任と重圧を背負っている選手、それをベンチで支える控え選手や記録員、洗濯に明け暮れた補助員、腕が棒になるまで太鼓を叩き、スタンドで声をからした部員、お互いがお互いを信頼し、皆の力が一つになった結果があつた甲子園二勝だったのだと

思います。ややもすると活躍した選手ばかりがスター扱いされるのがこの世界ですが、レギュラーが謙虚に感謝の気持ちを忘れず、他の部員がレギュラーを信頼して想いを託す、このスポーツマンらしい精神性が明訓野球部の最大の武器だと思えます。そういう意味で逞しい武器を身につけたチームでした。  
さて、一方で県予選開幕から間もない七月十六日に発生した中越沖地震で被災された方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、本校生徒たちの甲子園での躍動が復興の一助となるのが出来れば幸いです。皆様の一日も早い復興を願ってやみません。

『信頼』：七つ目の部訓誕生

野球部監督 佐藤 和也

春の北信越本体会優勝そして甲子園出場、初の二勝を上げ、まさに野球部創部六十周年に花をそえる活躍ぶりであった。しかし、そんな結果とは裏腹にチーム事情は厳しい試練の連続であった。春の本体会準決勝での四番バッターの骨折、夏の準々決勝での二番バッターの骨折と怪我人が続き、台所事情は火の車といった体であった。選手はこの窮地を控え選手を含め皆んな

の力で勝ち上がってくれた。怪我があるたびごとにチームの結束と信頼の力は高まっていた。甲子園に歩を進めても、選手は出場に満足することなく甲子園での勝利を信じて練習に汗を流し、選手同志の信頼の心は強くなる一方であった。一回戦、二回戦と接戦となっても、彼らには、少しも浮き足だつたところがなく、ベンチにいる私にも選手同志の信頼の力が伝わってき

感謝

て、安心して見ていることができた。



甲子園での応援風景

## この夏を振り返り

野球部コーチ 本間 健治郎

第89回全国高等学校野球選手権大会への出場に際し、同窓会の皆様には多方面から多大なご支援、ご協力を頂き心から感謝、御礼を申し上げます。特に関西明訓会の皆様には空港への出迎えからあたたかい激励、ご声援を本当にありがとうございました。

さて、この夏は震災に見舞われた新潟県大会でした。この震災で大会日程は大幅に変更され、余震の心配や交通網、ライフラインの復旧、被災地の被害状況などから私たちはただ大会が再開されるのを待

信頼の心は大きな輪となって選手、指導スタッフ、現地入りした先生方、応援の生徒たち、そしてテレビ観戦の人たちにも届いていない。無論同窓諸氏にも……。

### ※新部訓

信頼：人を信頼し、人に信頼される人間になろう。チーム力は人間の和でなく、積となる。

つのみでした。この間、日常生活のなかで「ただひたすら待つ」ということを忘れていくように感じました。もちろん何もせず、漠然と待つという意味ではありません。大会の再開の日に向けて練習は続きます。しかし、私は「新潟大会は中止」ということも現実的な選択肢の一つではないかとも思いました。そんななかで日頃から我慢、辛抱、忍耐などの心が成長していなければ「ただひたすら待つ」ことに耐えられないのではな

「待つべきもの」を見いだすことができればより積極的な、自発的な強い姿勢にあらわれてくるのではないかと思いました。そういったことを今更ながら痛感した県大会でした。

また、在阪生活では厳しい日程、ホテル生活、猛暑、長期滞在など非日常的な行動、生活にどれだけ順応できるかが非常に重要です。日頃からこのようなことを念頭において練習や遠征を行っています。そこで発揮できなければ意味がありません。周りの環境はそれほど容易に変えることはできません。お金をかけるにも限度があります。むしろ、自分自身の姿勢、心がけ、身の処し方が大切でしょう。

ことさらにストイックな生活を求めるわけはありませんが自分が求めるものに見合った克己の心が育っていないければ順応していくことは出来な

いのではないのでしょうか。たくましく順応した選手達を見ながら、自戒の念を強くして帰ってきました。

「甲子園」まさに熱狂です。「もし明日世界が終わるなら、私は今日リンゴの木を植えるだろう」ルターの言葉だそうですが、熱狂が冷めた後、ふと考えました。「もし今年で甲子園大会が終わるなら、私は今日……」もしこれほどの大応援団がいなくても、カメラやマイクを向けられることがなくても、あるいは甲子園球場ではなくても、熱狂のなかになくとも野球に青春を燃やせる選手達であつて欲しいと勝手ながら思い、願っています。同時に私自身もそうありたいと思います。

また、新チームが秋の県大会をたくましく勝ち上がっています。各方面でご活躍の同窓会員皆様のご健勝、同窓会の発展を祈念いたしますとともに今後変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

## 今まで支えていただいた皆様に

野球部主将 長橋和輝

新チーム発足当初から、練習試合で殆んど負けることなく選抜出場に大きな希望を持って、昨秋の大会に望みまし

た。しかし、県大会二回戦で

先の塁を狙う走塁、走者を進める打撃等原点到立ち返って、見詰め直すことができた昨秋の敗戦でした。

春季大会は、有力校が特待生問題で揺れるなかでの開催となり、実力を測ることが不透明な県大会でした。この大会では、私達が出来ることをキッチリとやれば公式戦で勝るということを覚えめました。ツアアウトからの得点や、簡単に得点を与えないプレーが少しずつ形となつて一度も負けることなく、北信越大会優勝という結果で、春季大会を終えました。

第八十九回全国高校野球選手権新潟大会が開幕して間もない七月十六日、メイン会場の佐藤池球場がある柏崎地域を震源に中越沖地震が発生しました。野球部がいつも柏崎でお世話になってる宿舎は、この地震により大きな被害を受けました。被災地域のライフラインの復旧もままならず、大会再会が危ぶまれるなか、私達は不安を抱えながらも日々の練習に取り組んでいました。

甲子園では、地震被災県として注目を集めるなか、県勢として八年連続一回戦敗退を阻止する為にも、県九十六校の代表として強い気持ちで望んだ一回戦でした。個人の力を和に変えて、一つのアウトを積み重ね、接戦を制することができました。どんなに苦しい場面でも、自分達の野球を信じ、励ましあつていました。笑顔を忘れず、新たな気持ちで望んだ二回戦は、ピンチもチャンスも一球一球を楽しみ、県勢として十三年ぶりに二回戦を突破しました。大垣日大との三回戦、自分達の展開に持ち込めず点差が開くなか、誰も諦めることなく、むしろ全員が一丸となつて甲子園での野球を楽しみました。そして、野球部の部訓に新たに、「信頼」という言葉を残せて本当に嬉しく思っています。

これまで私達が好きな野球を続けてこられたのも、多くの関係者の方々の支えがあり、またいつも身近でサポートしてくれた両親には心から感謝しています。

これまで熱い指導をしてくださった監督をはじめ、部長先生、本間コーチ、今井さんはもちろん、OB先輩諸氏のご協力に深く感謝しています。本当にありがとうございました。

終身会費納入者御芳名

(敬称略)

平成十九年八月三十一日現在

秋山 絵里	秋本 光陽	1組 (43名)	平成十九年卒 全日制58回		武田 陽子	斉藤 正樹	10組 (2名)	松澤 裕美	伏島 雅	9組 (2名)	峰岸 昂志	8組 (1名)	津野 友彰	石橋 亮	3組 (2名)	原 聡子	1組 (1名)	全日制57回	平成十八年卒											
西村 結衣	西村 紗希	難波 みなみ	土屋 静香	滝上 直也	相馬 和佳	柴野 裕香	櫻井 菜乃花	近藤 祐未	栗原 慎弥	金 俊 鎔	菊地 壘	加藤 亜希	小野 祐平	岡田 竜	大村 南津子	大福 真未	上関 由貴	岩崎 諒太	伊藤 拓貴	伊藤 佐奈恵	伊藤 朱	石山 彩花	石田 舞	五十嵐 智美	阿部 正徳					
神田 浩典	鎌倉 健太郎	片野 透	大西 啓太	大江 希佳子	猪俣 善久	天城 優	浅岡 真優子	2組 (40名)		渡辺 季美	渡邊 千鶴	若槻 大祐	山田 将史	皆川 章洋	増井 昭哉	堀越 亜紀	古川 成美	船坂 汐理	藤塚 麻菜	樋山 結	花野 友希	長谷川 未穂	萩野 みのり	二平 大地						
渡邊 ひとみ	渡邊 友章	渡辺 謙	森田 隆太	村山 竜也	宮脇 佑典	箕田 有未	松木 理人	前田 綾子	本間 文香	藤原 佳奈	廣井 順一	平松 邦広	橋本 賢一郎	行方 桃子	戸松 光博	田村 葉月	田中 事枝	竹内 沙織	滝口 あゆ	高山 諒佑	鈴木 佑輔	鈴木 航平	杉本 弦矢	白波 智之	佐藤 雄咲	佐藤 隼人	佐藤 拓弥	佐藤 衣里子	古藤 朋之	小林 淳
松木 裕起子	堀井 拓也	舟山 佑希	藤澤 奈央	野澤 央	中村 侑紀	中村 哉	堤 桜子	田村 綾香	高橋 里沙	田岡 紗織	鈴木 美喜	鈴木 史	佐藤 大翼	佐藤 幸平	小林 あゆみ	小林 剛	古寺 祐貴	小島 裕太	小島 和也	片岡 瑠衣子	江口 翔太	打矢 景子	上田 健太	今井 康介	伊藤 陽	石村 大輔	井合 千尋	味方 勇人	上石 清加	3組 (38名)
田村 美穂	高橋 淳也	高沢 奈々美	関川 結花	新保 陽平	清水 宏孝	斉藤 良太	小林 涼	河内 絢歩	家老 絢加	茅野 美樹子	金田 江里	片桐 麻佑	尾島 光	井比 健輔	伊藤 陽介	伊藤 由佳	石田 友江	石添 舞	池田 洋平	阿部 健太郎	4組 (34名)	渡邊 祐貴	渡邊 美緒	渡邊 麻衣	和田 和也	吉田 裕也	山口 陽子	森田 裕也	丸山 舞子	
下村 奈央	佐藤 和也	古保 綾花	小池 康友	毛原 卓実	桑原 将人	桑原 朋子	工藤 康介	笠原 賢人	岡村 優大	岡村 美里	大野 貴広	榎並 綾香	宇野 正信	伊藤 達哉	荒井 弘樹	5組 (39名)		渡邊 美里	吉田 裕可里	山内 洋太	丸山 彩奈	本間 小百合	堀内 翔太	保志 光徳	星 水規	廣瀬 裕平	野本 結実	野澤 真言子	名執 裕也	豊嶋 みゆき
風間 拓朗	大竹 恵里奈	大澤 克平	石田 高経	五十嵐 由樹	五十嵐 淳	6組 (23名)	渡邊 夢菜	鷺尾 紗由里	横山 航志	山崎 剛志	村木 沙織	丸山 祥子	松田 奈々子	中山 芳郁	中村 希	富井 央	戸松 朋生	遠山 讓	寺田 武	坪谷 はづき	津野 広大	茅原 麻衣	立松 美樹	高橋 怜子	高橋 英司	高桑 基	高井 慶彦	関里 香		
川崎 香澄	金子 達也	柏櫓 満春	大矢 直孝	大藤 拓生	江口 雄哉	印南 広明	猪爪 和也	伊藤 友也	五十嵐 愛	新井 直樹	安宅 誠	7組 (41名)	渡邊 智也	吉原 静香	目黒 奨仁	村山 竜太	見原 由佳梨	本間 大	羽田 靖晃	中島 健悟	関川 善美	洲崎 卓	清水 里奈	澤井 勇輝	齊藤 侑馬	駒田 俊	黒川 哲雄	加藤 雅俊		
		渡辺 麻由李	渡邊 智世	和田 恭兵	涌井 尚貴	水野 弘大	増田 玲奈	増子 亮	樋口 庄太郎	馬場 晃	萩原 拓弥	夏目 貴光	梨本 祐子	中嶋 将大	富樫 朋世	田中 大尊	高山 紀子	嵩岡 恵	清野 辰英	柴野 辰彦	篠原 龍彦	佐藤 亜妃子	笹川 敦大	五味 亜侑子	古俣 悠樹	小竹 彩	倉島 あおぞら	川崎 拓也		

山際宏典	安田カオル	宮腰麻莉子	三村峻央	水戸将貴	松田紗苗	藤田洋介	中川瑛介	富山容明	津野真斗	津野大輔	高橋昂志	砂塚薰子	清水千尋	椎名貴行	佐藤潤治	佐藤晃雅	佐久美太雅	小林直貴	小林直貴	小鍛治陽介	河本咲佳	川上咲佳	金子繁	荻野貴之	宇賀治彩	岩村裕子	井本博貴	石黒良輔	会田尚弘	8組 (36名)
保苜憲一	林あやの	浜田慎也	長谷川健太	長谷川健太	新島綾子	名畑静夏	遠山彩香	坪谷陽介	田村建	佐藤駿	佐久間泰道	齋藤貴之	小林ひとみ	小林拓未	小泉ユミ	小池謙	木島悠香梨	金子健一	加藤陽子	加藤聖	太田太郎	浅見麻結	9組 (37名)	綿屋亮介	渡邊桃子	渡邊藍里	吉田弘樹	横山洋樹	山口裕貴	
佐藤綾佳	坂田広之	小林有希子	小林修太郎	小出勝典	木山久優奈	河原京助	加藤亜也香	風間勝成	小野瑞己	植村信也	植木秀登	伊藤望	市橋直卓	青柳綾乃	10組 (40名)	渡邊浩行	渡邊竜弥	渡邊科野	若月優佳	六角太郎	横田辰則	谷内辰則	宮本ちなみ	松岡高	榊田一希	本間良寛	本間友康	本田耕二郎	星野裕紀	

浦野萌	7組 (1名)	松林理央	6組 (2名)	中野涼司	3組 (1名)	桜井里佳子
-----	---------	------	---------	------	---------	-------

年会費納入者  
御芳名(敬称略)

平成十九年卒 全日制58回	8組 (1名)	山口亨	9組 (1名)	須田浩史	10組 (2名)	杉本誉允 曹聖鉉
------------------	---------	-----	---------	------	----------	-------------

田中夏実	田中繁広	田沢遥介	高橋尚幸	園田智世	眞貝麻里子	白井玲香	澁谷洋貴	塩崎直哉
堀内綾乃	藤田隆義	廣川俊輔	平野貴文	原実辰	林真奈美	野崎旭	西喜成	田邊裕美子
			渡部麻夏	吉岡俊	柳生田紀子	皆川真央	丸山真央	本間祥太

平成十八年度  
会費納入状況

◎終身会費	全日制57回生 8名	四〇、〇〇〇円
全日制58回生 371名	一、八五五、〇〇〇円	

会務報告

◎年会費	全日制58回生 8名	八、〇〇〇円
◎入会金	本年入学者 448名	四四八、〇〇〇円
◎合計		二、三五一、〇〇〇円

- 一、会議
- (一) 総会
  - 平成18・10・20 (金) 18:00 於 イタリア軒
  - 平成19・8・3 (金) 18:30 於 ホテル新潟
- (二) 常任委員会
  - 平成19・6・27 (水) 18:30 於 イタリア軒
  - 平成19年度同窓会総会について 協議
- 平成19・8・3 (金) 18:30 野球部甲子園出場募金活動について

- (三) 正副会長会議
  - 平成18・10・7 (土) 18:00 於 新潟会館
  - 同窓会総会運営について協議
  - 首都圏新潟明訓会総会について
  - 平成18・12・25 (月) 18:30 於 県議長公舎
  - 同窓会総会についての反省会
  - 平成19・2・15 (木) 18:00 於 新潟東急イン
  - 同窓会歓迎会及び卒業式について協議
  - 平成19・6・4 (月) 18:30 於 新潟会館
  - 常任委員会開催について協議
  - 平成19・9・4 (火) 18:30 於 新潟会館
  - 常任委員会・総会開催について協議
- 二、その他
  - 平成18・11・26 (日) 13:00 於 銀座日航ホテル
  - 首都圏新潟明訓会総会・懇親会が開催され、渡辺会長 児嶋・石川副会長の3名出席
  - 平成19・2・15 (木) 18:30 於 新潟東急イン
  - 学校の同窓会担当教職員との懇談会